

(株)エコ計画の平成12年の廃棄物処理内容(6月議会一般質問の答弁より)

(株)エコ計画では、プラスチックごみ等は、污泥の乾燥の熱源にサーマルリサイクル(燃焼)して利用します。

産業廃棄物(取引業者402社)

処理方法	種類	量	件数
焼却処理 (65・8t/1日)	廃プラスチック	4202t	383
	木屑	109t	98
	紙屑	1301t	95
	動植物性残さ	4295t	79
バーナー焼却 (12/日)	廃油	721t	61
	その他	71t	11
脱水(288/日)	污泥	10395t	81
肥料化47.8t/日	污泥	8958t	24
固化20t/日	燃え殻、他	60t	11



一般廃棄物(嵐山町への届・実際の量ではない)

市町村名	搬入品目	搬入量
沼津市	可燃ごみ(プラスチック)	4000t/年
東松山市	可燃ごみ(プラスチック)	1.0t/日以内
桶川市	廃プラスチック	3,830 以下
岩槻市	可燃ごみ・不燃ごみ	1100t
小川地区衛生組合	可燃ごみ(プラスチック)	可燃300t・プラスチック1395t
鬼石町	固形燃料可燃ごみ	5t/日以内
大里南部環境福祉一部事務組合	可燃ごみ	1500t
水上月夜野新自治衛生施設		40t/日・600t/年以内
沼田市外三箇村清掃施設組合		300

- 上記資料は、議会の一般質問という形で(株)エコ計画より、提出してもらったものです。このような情報は、公表されたほうが町も住民も不安が少なくなります。(株)エコ計画と環境保全協定を改訂して、このような情報が報に掲載できるようにするべきです。
- 現在、廃棄物処理法では、処理施設のある地元住民は、関係のない存在になっています。地元で廃棄物処理内容が公開されるように、法改正を求めたいものです。
- (株)エコ計画に家庭ごみの処理を委託している小川地区衛生組合以外の市町村は、資源プラスチック(非塩ビ系)と廃プラスチック(塩ビ系)の分別をしていません。
- 非塩ビ系プラスチックと塩ビ系プラスチックの分別収集が活かされるプラスチックごみの処理ができること、塩ビ製品を焼却しない処理が将来の環境に必要です。

●エコ計画と小川地区衛生組合は、7月より、新たな契約を結びました。

塩ビ製品と非塩ビ製品を分別していても(株)エコ計画で焼却するしかありません。塩ビ系プラスチックと非塩ビ系プラスチックでは、焼却に必要な薬剤が異なり、分別したほうが安価です。(株)エコ計画は、小川地区衛生組合の委託料では、採算が取れないという理由です。最終処分の島根県松江市までの焼却灰運搬費用、処分費用が含まれています。※東松山市の場合、(株)エコ計画は1トン48,000円の委託料で引き受けています。H13年度の東松山市のプラスチックごみは、塩ビと非塩ビ混合プラスチックごみを新日鉄君津工場で製鉄時の炉材にし(1トン38000円)炉材に不適合であるものを、(株)エコ計画に委託します。(株)エコ計画で塩ビ製品の焼却を減少させるのは難しい現状です。

	平成9~12年	平成13年
資源プラスチック(非塩ビ系)	1tあたり27300円(消費税込)	1tあたり28875円(消費税込)
廃プラスチック(塩ビ系)	1tあたり32550円(消費税込)	1tあたり34125円(消費税込)

●小川地区衛生組合のプラスチックごみの流れ

収集場所 エコ計画



●日本では、塩ビ製品に含まれる化学物質が、人間や地球上の生物にマイナスの影響を与えるものと位置付けられてなく、非塩ビ製品も塩ビ製品も混合して焼却処理し、発生するダイオキシン発生量を押さえる政策です。

●ケミカルグリーンサービスは、廃プラスチックを焼却し、灰を埋立処分し、最終処分場の延命を行っています。

●嵐山町のごみ焼却灰は、島根県の山の谷を埋め、処理排水が日本海に流入しています。

●基準値以下の処理排水とはいえ、海の生物への化学物質の負荷は大きいものです。



ケミカルグリーンサービス(最終処分場)島根県松江市

8・21衛生組合議会で視察